



第6章

計画の推進体制と評価方法



第6章では、計画を推進するための体制と評価方法について説明します。計画の進捗を適切に管理し、評価するための仕組みについて示します。

第1節 計画の推進体制

1. 進行管理の方針

本計画では、計画に示す各種の施策・事業を着実に推進していくために、「計画（Plan）・実行（Do）・評価（Check）・改善（Action）」の仕組みであるPDCAサイクルによって進行管理を行います。

進行管理は、定期的に施策・事業の進捗状況を踏まえ、計画の目標を基に設定した指標等により評価を行います。

2. 進行管理体制

本計画に位置付けた各事業の実施主体が取組を進めるのと並行して、市は事業の進捗状況や評価指標に関するデータを収集するとともに、必要に応じてアンケート調査等を実施し、動向を把握します。

さらに、目標の達成状況の評価と施策・事業の進捗管理については、「あきる野市地域公共交通協議会」から意見を頂きながら、各年度の取組や各施策の課題について精査する等、PDCAサイクルに基づき本計画の進行管理を着実に実施します。

3. 計画の見直し

本計画の最終年次である令和12（2030）年度末を目途に、PDCAサイクルに基づき、目標水準の達成状況や施策・事業の進捗状況などの評価を行った上で、計画全体の見直しを行います。

なお、計画期間内においても、関係する事業の進捗状況や社会情勢などを注視し、必要な場合には見直しを行います。

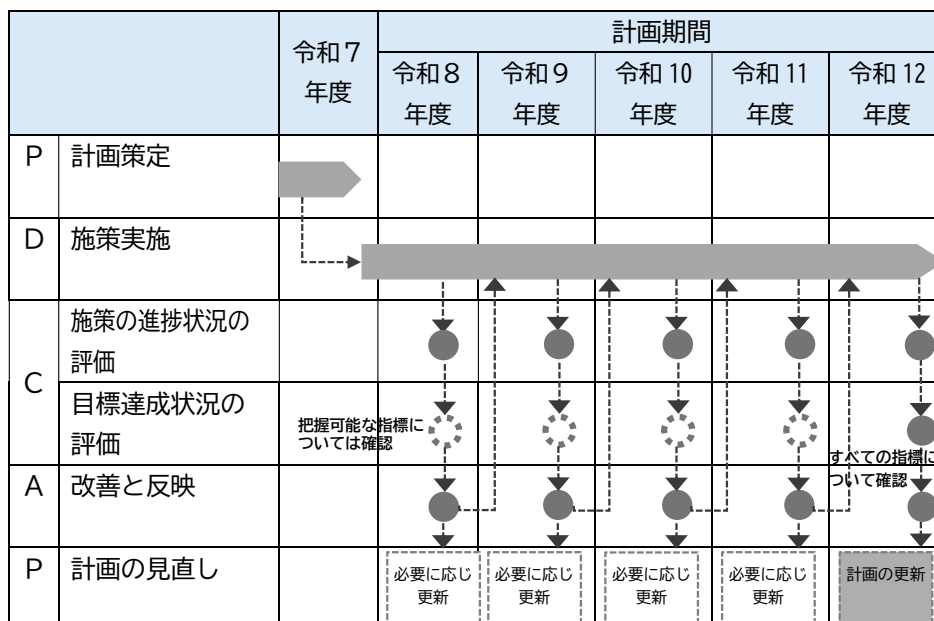


図 6-1 PDCA のイメージ

第2節 計画の達成状況の評価方法

1. 指標と目標値

国土交通省の「地域公共交通計画等の作成と運用の手引き 実践編 第4版」では、評価指標について以下のように記載されています。

- ・「標準指標」は基本的に全ての計画において設定し、「推奨指標」「選択指標」は地域の目指す姿や事業実施の目的によって設定を検討しましょう。
- ・数値指標の設定については、行政・交通事業者・市民それぞれが納得した上で設定しましょう。分かりやすさにも留意が必要です。
- ・モニタリング・評価を意識し、定期的に収集できるデータの活用を考えてみましょう。

この手引きを踏まえるとともに、本計画の目標や本市の公共交通の状況に基づき、目標の達成状況进行评估するための評価指標を次ページの表のように設定しました。

※各指標の定義及び現状値と目標値の算出方法は、資料編に示します。

表 6-1 目標の達成状況を評価するための評価指標

No.	目標	指標区分	指標	現状値		目標値 (令和12年度)
				年度	数値	
1	【目標1】 市民生活とまちづくりを支える持続可能な公共交通体系の構築	標準	JR五日市線、路線バス、るのバス、デマンド型交通の1日当たりの利用者数 (デマンド型交通は、利用回数を利用者数とみなす)	令和5年度	JR五日市線：20,112人/日	JR五日市線：現状維持
令和6年度				路線バス：8,790.9人/日 るのバス：257.1人/日 デマンド型交通：16.6人/日	路線バス：現状維持 るのバス：300人/日 デマンド型交通：25.0人/日	
2			るのバス、デマンド型交通の収支率	令和5年度	るのバス：8.85% (バス購入費分を除いた場合：14.35%) デマンド型交通：6.35%	るのバス：10.85% (バス購入費分を除いた場合：16.35%) デマンド型交通：8.35% (現状値+2ポイント)
3		路線バス、るのバス、デマンド型交通等への公的資金投入額 (総額、利用1回当たり)	令和5年度	(総額) 88,280,727円	(総額) 86,515,112円 (現状値の2ポイント改善)	
				(利用1回当たり) 路線バス(補助対象)：59円 るのバス：702円 デマンド型交通：2,915円	(利用1回当たり) 路線バス(補助対象)：58円 るのバス：688円 デマンド型交通：2,857円 (現状値の2ポイント改善)	
4		選択	JR五日市線とバス(路線バス、るのバス)の接続便数、接続率	令和6年度	接続便数：367便/日 接続率：76.1%	接続便数：400便/日 接続率：83.0%
5			地域公共交通のカバー率(人口割合)	令和6年度	89.6% (対象：JR五日市線、路線バス、るのバス、デマンド型交通、盆堀地域交通対策事業対象地域)	90.1% (対象：JR五日市線、路線バス、るのバス、デマンド型交通、タクシー利用助成対象地域)
6		推奨	地域公共交通に関する総合的な満足度	令和6年度	7.3%	12.0%
7		個別の交通手段に対する満足度	令和3年度	JR五日市線：22.9% 路線バス：24.2% るのバス：18.8% デマンド型交通：－	JR五日市線：25.5% 路線バス：26.5% るのバス：24.0% デマンド型交通：20.0%	
8		地域公共交通のソフト面(ダイヤ設定、運賃体系、情報提供の方法など)の分かりやすさに関する満足度	－	(現状値無し)※1	25.0%※2	
9	【目標2】 公共交通と市民等との接点強化	推奨	市民のるのバスとデマンド型交通に対する認知度	令和4年度	るのバス：65.3% デマンド型交通：28.3%	るのバス：70.0% デマンド型交通：40.0%
10			市ホームページへのアクセス数(地域公共交通に対する関心度)	令和6年度	31,132件/年	38,915件/年 (現状値の125%)
11		選択	観光地を運行する路線バス系統の1日当たり利用者数	令和6年度	対象系統の合計：1,314.3人/日	1,445.8人/日 (現状値の110%)
12			移動と観光施設利用を組み合わせたプランの導入件数	令和6年度	0件/年	1件/年
13	【目標3】 公共交通を支える環境等の底上げ	推奨	地域公共交通の安全性、耐災害性に関する満足度	－	(現状値無し)※1	25.0%※2
14			地域公共交通のバリアフリー化に関する満足度	－	(現状値無し)※1	25.0%※2
15			二酸化炭素排出量の削減	平成25年度	市全体：329.1千t-CO2	市全体：169.0千t-CO2 (基準年度比48.6%削減)

※1：現状値がない指標は、計画策定後、アンケート調査を実施するなどして動向を把握します。

※2：現状値がない指標の目標値は、No.7「個別の交通手段に対する満足度」の目標値と同程度に設定しています。